

防災推進国民会議の活動報告

令和 2 年12月15日
第 6 回防災推進国民会議

1.防災推進国民大会2020



国民の防災意識向上のため、我が国の防災に関する活動を行う多様な団体・機関が一堂に集い「防災推進国民大会2020」を実施。コロナ禍を踏まえ、オンラインで開催。

2020年度 開催概要

【テーマ】頻発化する大規模災害に備える

～『みんなで減災』助け合いをひろげんさい～

・日時：2020年10月3日(土) 10～18時

・開催方法：オンライン開催

(広島・東京のスタジオからライブ中継等)

※広島市の会場での開催予定をオンラインへ変更

・主催：防災推進国民大会2020実行委員会

(内閣府・防災推進協議会・防災推進国民会議)

・実績：(1) 視聴数 **15,545回**
(2) 閲覧回数 (PV数) **94,782回**
(3) 出展者数 **117団体**

(内訳：セッション：22、ワークショップ：11、プレゼン：84)



オープニングセッション
小此木大臣より開会挨拶



湯崎知事より
開催地挨拶



松井市長より
開催地挨拶



オープニングセッション
ハイレベル対談
(広島スタジオの様子)



クロージングセッション
赤澤副大臣より閉会挨拶



大塚議長より
主催者挨拶



秋本副議長より
主催者挨拶



ハイレベルセッション
(広島スタジオの様子)

プログラム例

○防災推進国民会議メンバーからのメッセージ

構成団体からのビデオや文章によるメッセージを紹介

○内閣府 TEAM防災ジャパン「いまだからこそ、オンラインでつながろう」

日頃からの防災・減災の事例や悩み・課題を共有し、具体的な取り組みのより一層の深化を促す議論をワークショップにて実施



○広島県知事・三重県知事
トップ対談

「頻発する豪雨、切迫する巨大地震にどう備えるか」をテーマに対談



○全国災害ボランティア支援団体ネットワーク
「コロナ禍での多様な被災者支援主体による連携(三者連携)」

「必要な支援を届けること」と「感染リスクを高めないこと」の両立や、コロナ禍での三者連携について議論



○プレゼン

防災関係団体等の活動の紹介映像等を掲載。当日は面談も実施

(写真は「梅林学区自主防災会連合会/梅林学区復興まちづくり協議会」の様子)

2. 津波防災に関する普及啓発



11月5日の「津波防災の日」に啓発イベントを実施。全国各地の津波を想定した防災の取組の紹介と意見交換などを通じて国民の津波防災意識の向上・定着を図った。

開催概要

【日時】 令和2年11月5日(木)

14時00分～17時20分

【開催方法】 オンライン(zoomウェビナー)

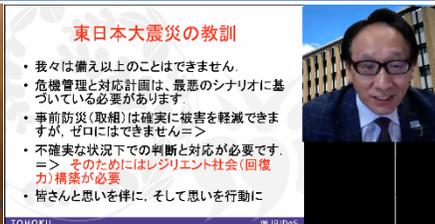
【参加数】 290アカウント

【プログラム】

- 開会メッセージ (小此木八郎 内閣府特命担当大臣(防災))
- 基調講演 『東日本大震災からの経験と教訓
—10年目を振り返り、将来の津波防災を考える—』
- セッション 『津波防災に取り組む地域の取組紹介 & 意見交換』
- 閉会挨拶 (中尾晃史 内閣府政策統括官(防災担当)付参事官)



小此木防災担当大臣
開会メッセージ収録



今村教授(東北大学研究所所長)基調講演



セッションの様子

□ 開会挨拶:小此木大臣

津波から命を守るためには、いわゆる「正常性バイアス」は避けなければならない、自らの命は自らが守る」という意識をもって、国民一人ひとりが主体的に取り組む「自助」、地域で互いに助け合う「共助」、公的支援等の「公助」を組み合わせ、地域全体で防災に備えていくことが何より大切。御参加の皆様が多くの知見を得て、津波防災の取組が益々活発になることを祈念。

□ 基調講演:今村教授

津波の被害は深刻だが、適切な避難をすれば人的被害をゼロにも出来る災害であり、備えることで救える“いのち”、学ぶことで助かる“いのち”があったという事実を、10年目を迎える東日本大震災をはじめとした大規模津波災害の教訓から紐解き、また熱中症や新型コロナなどの新たなリスクへの備えを構築するため、レジリエンスの考えを広げることの重要性などについてご講演。

□ セッション

津波を想定した防災活動に取り組む全国5地区(徳島県伊座利地区、高知県下知地区、北海道ウトロ地区、静岡県土肥温泉地区、高知県黒潮町)の代表者から、それぞれの地域の活動報告が行われ、活動内容について討議を深め、参加者と意識の共有を行った。

3. TEAM防災ジャパン (防災意識社会の構築、地域防災力の向上に向けた主な取組)



TEAM防災ジャパンは、全国各地で活躍する多様な防災の担い手を育成・応援するための人材ネットワーク。防災の担い手に有用な情報をポータルサイトで紹介するほか、オフラインによるミーティング等の開催により参加者間の経験や情報交換、人脈作りを行っている。

[ホームページサイト]



防災ボランティア・NPO
※被災地でのボランティア活動を希望されている方々は是非ご覧下さい。

内閣府
Cabinet Office, Government of Japan
防災情報のページ

-特別寄稿企画-
阪神・淡路大震災から
25年

被災地では、
ボランティアの力を
必要としています。



全社協被災地支援・
災害ボランティア情報

JVOAD
特定非営利活動法人

リレー寄稿 地域の防災リーダーの紹介
2020年6月17日
松尾増治 (まつお けいじ)
香川大学 四国危機管理教育・研究・地域連携推進機構 客員教授
香稿記事を読む

更新情報
すべて ニュース アクション 防災資料 特集
2020.6.12 オフラインミーティング【オンライン版】開催 (2020年6月18日) NEW
【普及啓発】災害時避難所のコロナ感染防止マニュアル公表 日本医師会 (2020年6月18日) NEW
【普及啓発】コロナ禍の防災・減災対策は広大の研究者が語る/広島 (2020年6月18日) NEW
【防災施設】水害タイムラインの本格運用開始 吉井川水系、被害最小化を図る/岡山 (2020年6月18日) NEW
【地域防災】大津波警報に緊急対応確認 新潟地震50年 市役所で訓練/新潟 (2020年6月18日) NEW

R2.6.12、コロナ禍を踏まえ、「オフラインミーティング」をオンラインで開催し、コロナ禍における災害対応について意見交換を行った。

2020.6.12 オフラインミーティング【オンライン版】開催
2020年6月12日(金)にTEAM 防災ジャパン オフラインミーティング(オンライン版)が開催されました。「コロナと災害」というテーマのもと、オンラインの特性を活かし、全国から多くの防災の担い手が集まりました。各分野の専門家からの講演に続き、参加者が複数のROOMに分かれて「Webコロナ時代に災害被害を軽減するために考え、実践していかなければならないこと」について活発な意見交換が行われました。
[講演いただいた先生方]
○ 岐阜大学 流域圏科学センター 小山准教授
○ 熊本県 益城町 今石危機管理監、○内閣府 避難生活 都外川企画官
○ 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科 阪本教授
○ 名古屋大学 減災連携研究センター長 福和教授
○ 日本パラリンピック委員会 桜井副委員長



R2.10.3、オンライン開催となった「防災推進国民大会 (ぼうさいこくたい) 2020」にて、オンラインで防災の担い手がつながる方法、地域防災の担い手の多様化について、ミーティングを開催。全国から防災の担い手が参加し、あらたな学びとつながりの場となった。

TEAM防災ジャパン
オフラインミーティング
【オンライン版】
in ぼうさいこくたい2020
～いまだからこそ、オンラインでつながろう～

昨年の名古屋や今年の広島など、ぼうさいこくたいに集った人たちが、日ごろからの防災・減災の事例や悩み・課題を共有し、交流や学び合いの中から、具体的な取り組みのより一層の深化を促す議論を行います。
令和2年10月3日(土) 開催
第一部 13:30～15:00
「つながる+発見、そして新しい場づくり～実空間を超えて～」
総合司会：藤屋一 (姉見学園女子大学 観光コミュニケーション学部 教授)
第二部 15:30～17:00
「地域防災の力を膨らませる：多様な参加が可能な地域防災の未来形」
総合司会：浅野幸子 (減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表)

